

松本さんのブログ記事から一部抜粋

ブロガーインレジデンスは、外の人に向けて、自分たちの町を知ってもらうすごくいい機会だと思います。

自分でブログを運営している人に来てもらうことで、外の人から見た町の情報や町の良さを発信してもらえますからね。

もしかしたら、その記事をきっかけに行ってみよう、という気持ちになるかもしれません。

劇的に変わることはないのですが、小さなきっかけでもどこで誰が興味を持つかわからないですよ。

一度書いたブログ記事は、どこかで誰かが検索して見つけるかもしれません。そうやって、1つでも町の情報が増えていくことで、その場所に行くきっかけとなる可能性がほんの少し高くなります。

ブロガーインレジデンスはいいアイデアだと思うので、大山町に限らず全国的に広まると、いろいろなうねりを作れそうな気がします。

人気ブロガー 松本博樹さんのサイト

松本さんは神戸市在住。ブログ「ノマド的節約術」というサイトを運営しています。松本さんのサイトは1日7~8万人の人がページを見ているということでした。松本さんは、2月15日から8日間、大山町に滞在し、ブログを発信しました。



ノマド的節約術

検索



▲左が岩田さん、右側は移住定住アドバイザーの中村夫妻

きっかけいろいろ こんな移住もありました

大山町に暮らしながら、アーティストとして活動する大下志穂さんがいます。今回、大下さんのつながりで、移住してきた方がいらつしやいます。

現在は大山町でデザインの仕事をしている、岩田まどかさんを紹介します。

岩田さんは、もともと移住を希望していた訳ではありませんでした。勤めていた会社を辞める予定だった昨年、以前同じ会社で同僚だった、大下志穂さんと再会。大下さん

からアニメーションプロジェクトなどのイベントを手伝わないかと誘われ、大山町に約1か月半滞在しました。

その時、「築き会」の仲間に出会い、自ら行動して大山町を盛り上げていこうとする姿に感動したそうです。

また、築き会に限らず、意欲的な人たちが地域に大勢いるということにも驚いたのだとか。

そして、楽しみながら、自分たちの生活と町をより楽しくしようと奔走する人が多くいる大山町なら、自分も楽しく暮らせるのではないかと思

い、移住を決めたそうです。

今、岩田さんは妻木の空き家を仕事場兼住居として生活しています。近所の方々から、野菜などをもらったり、気にかけていただいたりしてうれしいと、笑顔で話されました。これまで、ミュージシャンのCDジャケットのデザインなどを多く手掛けていた岩田さん。大山町に移住されてからも、ロゴマーク、パンフレットやチラシといったデザインの仕事を続けています。大山

の株式会社さんどうのロゴもデザインされました。

デザインの仕事の他にも、高麗地区の「地域自主組織かあらやま」で新しく設立される、若者部会に参加するそうです。今後の岩田さんの活躍を期待します。

人が人を呼ぶ町に

大山町は、ひよつとすると、アーティストやクリエイターが多く住む町になるかもしれません。人とのつながりで移住される場合も多く見受けられます。

移住希望者を対象に、大山の魅力をお知らせして住んでもらう方法とあわせて、移住したくなる魅力的な町を作っていくことも重要だと考えます。

岩田さんがおっしゃっていたように、人が動いて活気がある町、そんな町を皆で目指していきましょう。

◆問い合わせ先

大山町地方創生本部事務局
☎0859・53・3120